

フィリピン

国際婦人デーは戦争に反対し平和を求め女性の権利を確立していく行動の日

エドゥアルド・F・ランダヤン・フィリピン共産党（PKP - 1930）書記長

わがフィリピン共産党（PKP - 1930）は、2024年3月9日に東京で実施される国際婦人デー集会の実行委員会と参加者の皆様に、革命的かつ同志的なご挨拶をお送りいたします。集会のご成功を祈念しております。

親愛なる同志の皆さん、

すでにお伝えしましたが、わが党の女性部会もまた、皆さんの集会と同時期にわが国の女性の飛躍を期する記念行事を実施いたします。この行事は、今わが国が直面している平和と安全の問題と切り離すことができません。この喫緊の問題は、西フィリピン海（南シナ海）における緊張の高まりと、わが国の政府を支配している政治と経済の権力者およびその外国の帝国主義パートナーが引き起こしています。かれらは口をそろえて、憲法を改悪しろと叫んでいます。かれらのねらいは、土地、天然資源やわが国固有の諸資源、公共セクター（水、エネルギー、電力、輸送）の戦略的産業、印刷・放送メディア、そして、広告の所有権を保護している現憲法の諸規定を削除することにあります。

わが国の現在の憲法は、こういった資源や事業体を外国人が独占したり排他的に利用したりすることを禁じています。現憲法は、こういった資源や経済機構の帰属は、所有者の過半数がフィリピン国民である企業や個人に限るとしています。かれらは、わが国の憲法からその規定を削除したいのです。

この動きに反撃するとともに、わたしたちのアジア太平洋地域において平和と安全を保障するための闘いをともに進めなければなりません。戦争の脅威が日に日に迫っています！ 台湾と中華人民共和国（PRC）間の緊張が高まりつつあり、わが国とベトナムもまた、中国とのあいだで日常的に軋轢が生じつつあります。この緊張は、米国がつねに煽動しています。最近米国は、この地域における中国海軍のプレゼンスに対して同国を挑発するため、二つの機動部隊を意図的に派遣しています。この動きは、アジア・太平洋地域で全面衝突や戦争を誘発させる恐れがあり、きわめて危険です。

米国の対ヨーロッパ覇権戦略は、すでに完遂されました。ウクライナが近く戦場で敗北することで、米国は対ヨーロッパ経済戦争で勝利します。米国がウクライナ紛争以前に経済的対抗相手とみなしていたヨーロッパは、崩壊しました。米国やNATOが押しつけた戦争と制裁は、正反対の結果をもたらしました。経済が崩壊したのは、ロシアではなくヨーロッパでした。その結果、ヨーロッパは、米国の経済的、軍事的、財政的従属国になりはてました。今、米国はこの戦略を中東でも用いており、同地のターゲットはイランです。そのつぎに残っている米国の経済的対抗相手は、アジア・太平洋地域の諸国です。米帝国主義の経済的・政治的打算が、第二次世界大戦後に獲得した帝国主義的国际情勢の復活にあることはきわめて明白です。それは、アジアとヨーロッパだけではなく、全世界にとってひじょうに危険なシナリオであり戦略なのです。

70年前、この類の帝国主義戦争が日比両国を襲いました。皆さんの国は数百万もの死と膨大な資産の破壊を被り、また、原爆投下によるジェノサイドという塗炭の苦しきまで背負いました。このような事態を二度と生起させてはなりません。私たちは、平和と繁栄のために闘うべきです。人類の友情と調和を育むべきなのです。

このような帝国主義の復活に抗し、戦闘的な闘争を展開しつづけましょう。わたしたちには、人類を守り、平和を守り、民主主義と社会主義を守るために、グローバルに団結し

て闘うことが求められています。

帝国主義戦争にノーを！
国際婦人デー万歳！

ともに闘おう。

エドゥアルド - F - ランダヤン・フィリピン共産党（PKP - 1930）書記長
【訳＝木田誠也】